



### 昔の里山を取り戻そう

上田直之さん(74)＝大津市青山4丁目＝は青山地区の里山、牟礼山の保全活動に取り組む「牟礼山森林クラブ」を06年に立ち上げた。うっそうと竹が生い茂り、立ち入ることができない山を見て、「自分たちの少年時代と同じように子どもたちが泥んこになって遊ぶ場所を作りたい」と思った。仲間とのごきりで竹を伐採し続けると、里山が少しずつ本来の姿を取り戻してきた。「山をきれいにするまでは死ねない」

お隣さんの笑顔



### 一口チーズスフレ人気

「パティスリーキタガワ」はオーナシエフの北川宏さん(44)が考案した一口サイズのチーズスフレが人気の洋菓子店だ。濃厚なチーズの味がいつまでも口に残らないよう、隠し味に白ワインを使っている。兵庫県の人気洋菓子店「ツマガリ」などで約21年間営業した。05年に念願だった自分の店を開いた時、まず味を知ってもらおうと3千戸にチーズスフレを無料配った。「地元の人から大歓迎される店を目指したい」

### 顔出会った。



### 住民バンド何でも演奏

木戸誠宏さん(67)＝大津市青山8丁目＝は青山地区に勤める人や住民でつくるバンド「青山ランダーズ」のリーダーだ。メンバーは40～60代の男女8人。地区内の音楽経験者に声をかけて4月に結成した。地元のアパレルなどに駆け付けて歌謡曲からクラシックまで何でも演奏する。「地域の人を楽しませるバンドを目指したい」。吹奏楽の経験がある子どもたちも巻き込み、住民による楽団をつくるのが夢だ。

### 安心食品ほんまもん市



農業や化学肥料を使わない米や野菜を集めた「ほんまもん市」が毎週土日、商業施設「プロムナード青山」＝大津市青山5丁目＝で開かれている。野田勲さん(50)＝左から3人目＝の呼びかけに応じ、県内の8農家が商品を持ち寄る。アトピーの娘に安全な食べ物を食べさせようと、野田さん自身も00年から鶏卵や農業を始め、市に鶏卵を出している。「品数を増やし、毎日営業ができるようにしたい」

●プレゼント  
商業施設「プロムナード青山」＝写真＝の店舗で使える金券2千円分を5人にプレゼントします。希望者ははがきに希望の品名と住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、〒520・0044 大津市京町3の5の12、朝日新聞大津総局「あなたの街から」プレゼント係へ。14日必

首。発送をもって当選発表にかえます。応募者には朝日新聞販売所から購読などの案内をさせていただきます。ご了承ください。

## あなたの街から ■大津市・青山地区を歩く



▲青山まちづくり役場で集うNPO法人「青山まちづくりネットワーク」のメンバー＝大津市青山5丁目  
▲ツリーハウスづくりに取り組む立命館大学生ら＝大津市の牟礼山

# 住民が醸す協力の輪

住民同士が積極的に支え合う町がある。聞き、大津市青山地区に足を運んだ。立命館大びわこ・くさつキャンパスの東に二戸建てが並ぶ住宅街が広がる。中心にある洋菓子店やパン屋が入った南欧風の商業施設「プロムナード青山」が異彩を放っていた。「青山まちづくり役場」の看板を掲げた山小屋風の建物を

## 暮らしの助っ人「役場」に常駐



自走車を押して、「徒歩圏内に自走車庫がないんです」と木村さんは説明する。以前は自走車が故障すると車で地区外のホームセンターに持ち込まなくてはならなかった。不便をなくそうと2年前から「役場」でバンク修理を請け負った。木村さんは「知り合いです。住んでいる人もいろいろと交換できるようにしたのがうれしい」。青山地区は79年に開発が始まった新興住宅地だ。いま2770世帯、8960人が暮らす。働き盛りの若者が多いが、地区に引っ越した人たちは会社勤務



住民が積極的に参加するまちづくりに立命館大も注目する。NPOが手がける里山「牟礼山」の保全に授業の一環として学生を派遣し、竹の伐採を手伝う。毎月2度参加すれば単位は取れるが、自主的に集まった学生らは木の上に小屋をつくって子ども遊び場にしようと汗を流す。NPOの大谷洋士事務局長(42)は「誰かが汗をかいている姿を見れば協力してくれる住民の輪が広がる。力を合わせて活力ある町を維持したい」と話す。(堀川勝元)

### ガイド 街のお宝・話題あれこれ

- ◆パティスリーキタガワ (0120・569・160) 人気のスフレはチーズ味(4個入り630円)のほか、抹茶、チョコ、マロン味(4個入り714円)がある。店頭にはケーキ40種類と焼き菓子50種類がずらりと並ぶ。午前9時～午後7時。水曜定休。
- ◆ほんまもん市 午前11時～午後5時開館。無農薬米は3種類。食べ比べてもらおうと1.5リットル小分けにして販売。価格は700～900円。土の上で飼われた鶏の卵は1個50円。ほかに無農薬野菜や茶、みそ、しょうゆなどが並ぶ。
- ◆HANA BOZE (077・535・7808)＝写真 屋根に芝を植えたユニークな店舗が目玉を引く花屋。信楽焼の鉢植えを使った観葉植物が一押しで価格は1500～3万円。2週ごとに決めるテーマの花を販売している。

■メモ■ 青山地区と隣接する草津市若草地区で「グリーンヒル」と呼ばれる住宅地をつくる。街並みの美しさを保つために土地の境界から1.5倍離して家を建てることや敷地の15%を緑化するなどの取り決めがある。年4回の地域一斉清掃には全世帯の90%以上が参加する。